

## 第2回野生生物保護学会理事会議事録

日時：2012年11月16日

場所：宇都宮大学峰校舎 生涯学習 B 教室

出席：湯本、横山、鈴木正、小寺、鈴木克、赤坂、柳川、岩井、八代田、梶、羽山、吉田、丸山、奥山、山中、野崎、逸見、富田、安田、桜井、中村

### 議題1. 学会名変更に伴う規約改正について

鈴木克理事より、「8/1 付「学会名称変更提案書」を会員に通知後、HPにて異議申し立てを募ったが異議はなかった。総会に提案し議決し、学会名称を変更したい。それに伴って会則改正が必要となったので諮りたい。1) 会則改正、2) 会則が変更された際には各規約も改正することの了解を得たい。」との説明があった。議論の結果、以下のように、規約改正案の変更を行い、総会に諮ることとなった。また、総会で規約改正案が承認された場合、その後、理事会を開催することなく、関連規則の学会名を自動的に修正することについて了解をとった。

規約改正案：

第2条 野生生物と人のプラットフォームとなり→野生生物と人とのプラットフォームとなり、

2. 会誌『野生生物と社会』『Wildlife Forum』→『野生生物と社会』、『Wildlife Forum』

### 2. 「男女共同参画学協会連絡会」加盟について

八代田理事より、提案書にもとづいて、男女共同参画 学協会連絡会への加盟について提案があり、正会員として加盟することについて、全員一致で了解した。

### 報告1. 会員状況

#### 2. 会計報告

吉田事務局長より、会員状況、会計状況について資料に基づき説明があった。フォーラム誌、学会誌3巻を予定どおり発行した場合、支出が予算をオーバーすることの問題が話し合われ、まずは会員増をはかることで解決を図ることとなった。またホームページがわかりにくい

という問題について、学会名変更に伴いリフォームが必要となるため、小寺理事、鈴木克理事、青年部会、行政部会からホームページの課題を出してもらったこととなった。

### 3. 学会誌

湯本会長（編集長）より報告があり、以下のような発行予定となった。

2012年 12月 「野生生物保護」最終号（14巻 1/2）発行

2013年 3月 「野生生物と社会」創刊号（1巻 1号）発行

2013年 7月 「野生生物と社会」2巻 1号発行

2014年 2月 「野生生物と社会」2巻 2号発行

### 4. 青年部会

富田部会長より、グリーンフォーラムは参加者少なく中止、現場セミナーは、千葉県の捕鯨を予定と報告があった。Facebook を承認してほしいという要望に対しては、非公認だが会員 ML に告知することとなった。また回青年部会幹事において 12 人立候補者全員を承認、新しい執行部として、安田部会長、桜井副部会長、中村事務局長が紹介された。

### 5. フォーラム誌

山中編集長より報告があり、2013 年から岩井理事が編集長に、山中氏が副編集長となる。また横山副会長が編集委員を退任するのに伴い、新たに編集委員（できれば哺乳類以外の分野）を募集することとなった。

### 6. 行政研究部会

野崎副部会長より、資料に沿って説明があった。「野生生物保護行政」のアーカイブを会員 ML に掲載するなどして、会員になることのメリットをもっと強調すべきということが話し合われた。

### 7. 大会実行委員会

小寺実行委員会事務局長より、会計状況について、当日参加が 50 名以

上あれば黒字になると報告があり、、ポスター賞副賞として、図書カード2万円分の支出を認めることになった。